

1. 令和5年度公益財団法人船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター事業報告書

第 33 期

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

法人の全体的な事項

公益財団法人船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター（以下「FCS」という。）は、中小企業に働く勤労者とその家族に対し、中小企業が実施しがたい総合的な福祉事業を行うことにより、これらの方々の福祉の増進を図るとともに、中小企業の振興に寄与するため、平成4年に財団法人として設立され、平成20年12月の公益法人制度改革関連法の施行に伴い、平成23年4月1日からは公益財団法人へと移行し、令和4年1月に設立30年を迎えた。

令和5年度末の加入状況は、318事業所、会員数3,140人であり、前年度末との比較では、事業所数は10事業所の増、会員数は38人の減となっている。

また、船橋市勤労市民センターについては、平成10年度から管理委託を受託し、平成18年度からは指定管理者として施設の管理運営を行い、指定管理4期の3年目の指定管理業務を行った。

事業概要

FCSは、中小企業の勤労者が生涯にわたり豊かで充実した生活を送ることができるよう、また勤労者及び市民の文化等の向上に資するため、次の3つの主要事業を実施した。

1. 福利厚生事業

中小企業の勤労者とその家族の生活安定及び生きがいのある豊かで充実した生活に資するため、慶弔金等の給付及び生涯学習通信講座や宿泊施設、健康診断費用等の一部助成、旅行、レジャー施設、スポーツ施設、ショッピング等の割引利用などの福利厚生事業を実施した。

市内事業者である会員事業所と自主事業を共同開催し、会員事業所の振興と発展に寄与した。また、自主事業実施にあたり一般参加の機会を増やし、FCSの周知に努めた。

2. 特定退職金共済事業

単独では退職金制度をもつことが困難な中小企業の事業所に対し、企業における雇用の安定、従業員の勤労意欲の向上及び退職後の生活基盤の安定など福祉の向上を図るため、所得税法施行令第73条の適用を受ける団体として特定退職金共済事業を実施した。

今期は市内中小企業に制度の周知拡大を図るため、千葉県社会保険労務士会船橋支部や千葉県税理士会船橋支部の会員事業所等にDM（郵送によるダイレクトメール）を送り、加入促進を行った。

3. 勤労市民センター管理運営事業

指定管理者として、勤労市民センターの会議室、ホール等について、公平な運営と利用者の平等な利用機会の確保等に重点をおきながら、適正かつ効率的な管理運営に努めたほか、自主事業を開催し、勤労者及び市民等に文化・教養活動に触れる機会を提供した。

利用料金の支払方法にコンビニ収納を追加し、利用者の更なる利便性の向上および利用促進を図った他、夜間の利用拡大を目的とし、令和5年10月から令和6年3月まで一部施設の夜間料金の引き下げを試行的に行った。さらに、東部公民館の長期休館に伴う公民館利用者の受け皿として、施設の周知活動を行い利用促進に努めた。

また、モバイルバッテリーシェアリングサービスを導入し、利用者の利便性を向上すると共に、災害時におけるバッテリー無償提供により宿泊可能避難所として役割の強化を図った。

実施事業の内容

1. 公益目的事業

事業概要の1. 福利厚生事業のうち（公1）生活安定事業、（公2）健康維持増進事業、（公3）自己啓発・余暇活動事業、（公4）情報提供事業と、2. 特定退職金共済事業（公5）特定退職金共済事業、そして3. 勤労市民センター管理運営事業のうち公益目的利用市民団体へ会議室等を貸与する（公6）勤労市民センター公益目的貸与事業を公益目的事業として実施した。

（公1）生活安定事業

（1）生活安定事業

① 物資割引購入事業

書店協同組合、飲食店等と提携し、会員証の提示により割引価格で商品購入が出来るほか、果物等良質な商品や地元の特産品を低廉な価格であつ旋した。

利用件数	519件
------	------

② 融資あつ旋等事業

中央労働金庫船橋支店と提携し、以下の融資あつ旋並びに利子補給を実施した。

ア. 生活資金融資あつ旋

教育、り災、病気その他不時の出費のための生活資金について、低利な融資あつ旋事業を行った。

対象者	1人
-----	----

イ. 育児休業期間及び家族介護休業期間生活安定資金融資あっ旋

「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」に基づく休業勤労者に対し、生活資金として低利な融資あっ旋事業の提供に努めた。

対象者	0人
-----	----

ウ. 融資を受けている者に対する利子補給

上記の融資に対し「(年率) 1.0%」の利子補給を行った。

(2) 労働時間短縮促進事業

千葉県社会保険労務士会船橋支部に委託し、労働時間短縮等の相談活動や啓発活動を行った。

① 労働相談の実施

会員事業所を対象として改善計画の作成等、社会保険労務士による相談を行った。

相談者数	51人
------	-----

② 労働法に関する情報の提供

会員以外の方も参加可能な社労士セミナーを開催し、労働保険や社会保険の基礎知識に関する情報を提供した。

セミナー名	参加人数
ア. 労働法関係セミナー 「フリーランス企業のための社会保険ここがポイント！」	17人
イ. 新NISA説明会	25人
ウ. 労働法関係セミナー 「私の働き方改革 103万・106万・130万の壁にどう向き合う」	35人

(公2) 健康維持増進事業

(1) スポーツ施設等の割引あっ旋・利用助成事業

会員等の健康の維持増進を支援するため、割引提携を行っているスポーツ施設や健康施設などにおいて、一般より低廉な価格での利用や入場券のあっ旋をした。

利用人数	653人
------	------

(2) 健康診断等助成事業

会員の健康の維持を支援するため以下の助成を実施した。また、今年度からインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンのみならず、会員本人が選択した予防接種に助成できるようワクチンの種類を限定しないこととした。

① 人間ドック

助成額		助成人数
10,000円以上 20,000円未満	2,000円	4人
20,000円以上 30,000円未満	3,000円	14人
30,000円以上 50,000円未満	5,000円	158人
50,000円以上	8,000円	36人
合計		212人

② 定期健康診断及び生活習慣病予防健診を実施した事業所へ助成した。

助成額	800円（年1回・1人）
助成人数	1,103人（52事業所）

③ ストレスチェックを実施した事業所へ助成した。

助成額	300円（年1回・1人）
助成人数	548人（8事業所）

④ 予防接種を受けた会員へ助成した。

助成額	1,000円（年1回・1人）
助成人数	332人（45事業所）

(3) 健康講座の開催等事業

心と身体を健やかに保ちながら働き続けるための体づくりを学ぶ「お勤め帰りのヨガ」講座を開催した。

参加人数	48人（全3回）
------	----------

(4) 情報・資料提供事業

会員及びその家族が、健康で充実した家庭生活を送れるよう、船橋市保健所等と連携して、健康の維持増進に関する情報や資料を情報誌（以下「FCSニュース」という。）を通じて提供した。

(公3) 自己啓発・余暇活動事業

(1) 割引提携事業

レジャー施設や船橋市内の飲食店等と提携し、会員証の提示や割引利用券により、低廉な価格で利用できるなどの割引事業を実施した。

利用人数	1,263人
------	--------

(2) 施設利用助成事業

宿泊施設等の利用及び推奨旅行などを利用したときに利用料の一部を助成した。

① 契約宿泊施設、契約旅行会社代理店

1年を通じて、1泊につき会員2,500円、登録家族1,200円を最大4泊まで助成した。

助成人数	279人
------	------

② 推奨旅行

会員からの需要が高い、手軽に少人数で利用できる昼食と日帰り入浴がセットとなったレジャーチケット「ユッタリート」を販売した。

助成人数	102人
------	------

(3) 入場券あっ旋事業

会員及びその家族が低料金で観劇・スポーツ観戦、映画鑑賞、レジャー施設の利用などができるよう入場券等をあっ旋した。

昨年度より取り入れているアンデルセン公園入場券のコンビニエンスストア発券が定着し、利用率が伸びた。

また、法人会員制チケットサービス「ローチケbiz+ (ビズプラス)」による福利厚生メニューの拡大を図ったほか、(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンターと提携し、会員証等の提示や割引利用券による全国のレジャー施設等の料金割引事業を実施した。

利用人数	3,986人
------	--------

(4) 生涯学習等助成事業

自己啓発を目的とした各種講座等の受講費用について、一部助成する事業を実施した。

(5) 自主企画事業

会員等の充実した時間の確保、自己啓発や余暇活動及びスキルアップ支援を目的とした事業の他、気軽な参加を促すクイズ企画など各種事業を行った。

自主企画事業名	実施回数	参加人数
① 佐々木朗希選手ユニフォームプレゼントクイズ	全1回	70人
② さつまいも掘り	全3回	11人
③ 手ぶらBBQ	全1回	9人
④ THE FARM 新鮮野菜詰め合わせプレゼントクイズ	全1回	50人
⑤ ふなばし市民まつり出店 (会員事業所共同出店)	全1回	378人
⑥ 船橋港親水公園花火大会観覧席	全1回	150人
⑦ 婚活 ラフ&ラフミーティング (千葉市SC・野田市SC共催)	全1回	30人 ※1

⑧ お年玉企画その1 千葉ロッテマリーンズオフィシャルグッズプレゼント	全1回	32人
⑨ お年玉企画その2 お正月プリペイドカードプレゼント	全1回	102人
⑩ リスキリング講座 デジタルクリエイター講座・ゲームクリエイティブ体験	全1回	50人
⑪ FCSふなまるしえ	全1回	※2
⑫ 福利厚生5団体e-Sports Cup (京都市SC・札幌市SC・さいたま市SC・奈良市SC共催)	全1回	40人 ※3
⑬ FCS会員事業所共催 トマトいちご狩り	※4	45人

※1…FCS 22人参加

※2…入場自由のため人数計測なし

※3…FCS 5人参加

※4…農園指定日に予約し利用

(公4) 情報提供事業

(1) 情報誌発行事業

① 情報誌発行及び配布

各種事業の参加の促進を図るため、各種イベントや観劇チケット等の募集情報や会員事業所紹介等を掲載したFCSニュースを発行して会員に配布した。

FCSニュース (年6回・奇数月発行)	20,400部
---------------------	---------

② パンフレット等発行及び配布

会員加入及び各種事業の利用促進を図るため、FCSの紹介、福利厚生制度等の内容を掲載したマンガ冊子『マンガでわかるFCSの福利厚生』を発行し配布した。

(2) ホームページ及びSNS運営事業

FCSの情報を迅速に発信するため、ホームページ、LINE、Xにて随時配信した。

(3) 会員の加入促進

主な加入促進内容
① 会員勧誘の事業所訪問、電話等での説明及びパンフレット等の送付
② ポケットティッシュ・FCS紹介名刺作成
③ 船橋法人会会報「ふれあい」広告掲載
④ 船橋駅前デジタルサイネージへの広告掲出

⑤ 「広報ふなばし」掲載
⑥ 「ふなばし市民まつり」での周知宣伝活動
⑦ 「ふなばし朝市」「船橋港親水公園マルシェ」での周知宣伝活動
⑧ 入会キャンペーン実施（10～12月）
⑨ 「FCSふなまるしえ」での周知宣伝活動
⑩ 「ちいき新聞」広告掲載
⑪ 「My FUNA」フリーペーパー及びWEB版における周知宣伝活動
⑫ 美容業生活衛生同業組合船橋支部へのチラシ等の送付
⑬ 市「事業者情報メール」掲載

（公5）特定退職金共済事業

所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として退職金共済事業を実施した。

（1）加入状況

事業所数	93 事業所
被共済者数	1,025 人
加入口数	6,384 口

（2）給付状況

退職金支給額	55,536,600 円
退職金支給者数	154 人
1人あたり平均支給額	360,627 円

（公6）勤労市民センター公益目的貸与事業

勤労者や市民等の知識や技能の向上、健康づくりや文化・教養活動に触れる機会を提供する等の目的で施設を貸与した。

令和5年10月から令和6年3月まで夜間の利用率の拡大を目的として、一部施設の利用料金の引き下げを試行的に行った。

また、東部公民館の長期休館に伴い、公民館利用者の受け皿として周知活動を行い、公民館利用者のセンター利用登録事務を簡素化し利用促進に努めた。

<施設利用状況> 開館日数309日

利用状況	午 前		午 後		夜 間		総合計 年間 利用率
	利用 件数	利 用 率	利用 件数	利 用 率	利用 件数	利 用 率	
特別会議室	162	52.4%	211	68.3%	81	26.2%	49.0%
小会議室	244	79.0%	275	89.0%	148	47.9%	72.0%

第一講習室	184	59.5%	237	76.7%	142	46.0%	60.7%
第二講習室	230	74.4%	269	87.1%	133	43.0%	68.2%
第一和室	159	51.5%	167	54.0%	40	12.9%	39.5%
第二和室	230	74.4%	171	55.3%	51	16.5%	48.8%
茶室	29	9.4%	60	19.4%	25	8.1%	12.3%
特別室	205	66.3%	272	88.0%	192	62.1%	72.2%
第一会議室	169	54.7%	248	80.3%	171	55.3%	63.4%
第二会議室	200	64.7%	274	88.7%	152	49.2%	67.5%
第三会議室	172	55.7%	245	79.3%	149	48.2%	61.1%
第四会議室	182	58.9%	241	78.0%	128	41.4%	59.4%
レクルーム	151	48.9%	181	58.6%	151	48.9%	52.1%
第一音楽室	110	35.6%	161	52.1%	88	28.5%	38.7%
第二音楽室	177	57.3%	231	74.8%	129	41.7%	57.9%
展示室	172	55.7%	74	23.9%	46	14.9%	31.5%
ホール	140	45.3%	186	60.2%	105	34.0%	46.5%
合計・平均	2,916	55.5%	3,503	66.7%	1,931	36.8%	53.0%

トレーニングルーム利用人数	22,802人	1日平均利用人数	73.8人
---------------	---------	----------	-------

<貸与別利用状況>

利用 状況	公益貸与				公益外貸与			
	団体数	割合	人数	割合	団体数	割合	人数	割合
会議室	1,921	26.9%	23,327	23.2%	5,221	73.1%	77,155	76.8%
展示室	118	40.4%	1,839	41.6%	174	59.6%	2,578	58.4%
ホール	42	4.6%	2,315	5.8%	874	95.4%	37,553	94.2%
合計	2,081	24.9%	27,481	19.0%	6,269	75.1%	117,286	81.0%

<自主事業実施状況>

勤労者及び市民等を対象に文化・教養や健康増進等の機会を提供することを目的として自主事業を実施した他、勤労者や市民が気軽に利用できるテレワークスペースを引き続き館内に設置、提供した。

また、中央図書館等との共同事業を開催し、地域との連携を深めるとともに施設の利用促進を図った。

自主事業名	実施回数	参加人数
① 初めてのスマホ講座・基本とLINE体験編	全2回	34人
② キックボクシングエクササイズ	全4回	74人
③ おとなの自習室	全5回	13人
④ ライフプラン講座「親子の終活を考える」	全2回	30人
⑤ しめ縄作り講座	全1回	15人
⑥ パーソナルカラー講座	全2回	39人
⑦ ジャズコンサート「ふなばしベイサイドジャズ」	全1回	279人
⑧ お勤め帰りのヨガ	全3回	48人
⑨ FCSふなまるしえ	全1回	※1

※1…入場自由のため人数計測なし

中央図書館共同事業	実施回数	参加人数
① 【環境講座】みんなでチャレンジ環境マークはかせになろう！	全1回	10人
② えほんの会	全12回	171人
③ 本とおはなし会	全11回	4人
④ 特別おはなし会	全6回	65人

2. 収益事業

(収1) 売店等貸与事業

事業概要の3. 勤労市民センター管理運営事業のうち、勤労市民センター利用者の利便性の向上を図ることを目的として、施設の一部を飲食系専門業者に貸与するとともに、災害救援ベンダーとしての機能を備えた飲料の自動販売機(4台)、利用者用コピー機(1台)を設置した他、モバイルバッテリーシェアリングサービスを導入し、利用者の利便性向上を図った。

収益別		
喫茶室	自動販売機	利用者用コピー機
817,703円	1,056,631円	103,820円

3. その他の事業

事業概要の1. 福利厚生事業のうち(他1) 共済給付事業、3. 勤労市民センター管理運営事業のうち(他2) 勤労市民センター公益目的外貸与事業を、その他の事業として実施した。

(他1) 共済給付事業

会員が不慮の事故や罹災又は人生の節目に際し、相互扶助の精神で死亡弔慰金、傷病見舞金及び祝い金等の慶弔金を給付した他、低廉な掛金で堅実な保障内容のF

C S 生命共済を 10 月から開始し提供した。

給付額計	7,670,000 円
------	-------------

給付金の種類	給付件数
勤続祝金 (10 年・15 年・20 年・25 年・30 年・35 年・40 年)	283 件
結婚祝金	27 件
出産祝金	41 件
入学祝金 (小学校・中学校・高等学校)	255 件
二十歳祝金 (会員本人・満 20 歳)	2 件
還暦祝金 (会員本人・満 60 歳)	61 件
傷病見舞金	28 件
死亡弔慰金 (本人・配偶者・子・親)	99 件
合計	796 件

(他 2) 勤労市民センター公益目的外貸与事業

勤労市民センターの施設を公益目的以外の目的で使用する市内外の団体及び民間企業等に貸与した。

< 附属明細書の作成について >

令和 5 年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しない。